

今日の説教のポイント<マタイによる福音書9章1~8節>

①注目すべきは、人間の信仰心ではなく、イエス様の権威。

日曜学校の説教でもよく取り上げられる話です。家の屋根をはがしてまでして中風の人をイエス様に会わせようとする印象的な場面があるからです。しかし、マタイ福音書はその場面を省略しています。なぜか？マタイは、人間の信仰心以上にイエス様の権威に注目せよ、と言いたいのです。受洗準備でいつも強調する点です。自分の信仰心がどうかばかり見つめないで、信じようとしているお方がどんな方かを見つめなさい、と。そのお方とはどんな方？ ③で考えます。

②病気と罪の関係は？

イエス様は中風の人に、「子よ、元気を出しなさい。あなたの罪は赦される」(2)と言われました。これを聞くと私たちは、「病気は罪と関係がある」と考えます。当時のユダヤでも、病気に罹るのは何か罪を犯したからだ、と考えられていました(ヨハネ福音書9章参照)。しかし、ここで「あなたの罪は赦される」とありますが、「赦される」は現在形受身で、「あなたの罪は赦されている」とも訳せます。つまり、イエス様は、男がまだ中風である時に、「子よ、元気を出しなさい。あなたの罪はもう赦されているのだから」と言って励まされたのです！ イエス様がこの後に奇跡を起こされて病が治って健康になった時に罪が赦されたと考えがちですが、そうではないのです！ 病の中にある時にもすでに神様の御手の中に置かれているのです！ このことは私たちも覚えておきたいことです。では、なぜこの後、癒されたのでしょうか？

③口先だけではないことを示す癒し。そこで大事なことは？

「あなたの罪は赦された」ということを確認することは難しいですから、ぺてん師でも言えます。イエス様は、言ったことが本当であることを中風の病を癒して示されたのです。人々は本当に癒されたから驚いたのです。ここで大事なことは、癒して下さったイエス様が、「だからこのことを真剣に信じよ」と言われたその内容です。すなわち、「**人の子が地上で罪を赦す権威を持っていること**」(6)です。旧約聖書は、終末の際に到来される方を「人の子」と記しています(ダニエル書7章13~14節)。まさしく、イエス・キリストのことですね！